

公益社団法人 日本経営工学会  
第 33 期第 2 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 9 月 19 日（土），15:00～19:30

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館 5F 大会議室

出席者：（理事）河野宏和，二ノ宮滋，外館晃，篠田心治，松林伸生，稲田周平，  
岩崎昭，斎藤文，小西昭士，内田耕平，大久保寛基，皆川健多郎  
（監事）高橋勝彦，後藤正幸

欠席者：伊呂原隆

### 議決事項

#### 1. 第 33 期第 1 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より，（資料:1-1）に基づき，第 33 期第 1 回理事会議事録（案）が提示され，議事録として全会一致で承認された。

#### 2. 入会承認の件

会員担当理事より，（資料:1-2）に基づき，正会員 7 名，学生会員 5 名の入会申請が報告され，全会一致で承認された。あわせて，（資料:1-2）に基づき，平成 27 年度会員異動報告がなされた。

#### 3. 企画・行事委員会と人材育成委員会の名簿について

庶務担当理事，企画・行事担当理事，人材育成担当理事より，（資料:1-3）に基づき，企画・行事委員会及び人材育成委員会の名簿変更について，下記の通り報告がなされ，全会一致で承認された。なお，企画・行事委員会委員長及び委員については，今後，産学連携研究交流会の中より選出する予定との報告があった。

【人材育成委員会】委員長の変更：渡邊一衛先生より笥宗徳先生へ変更

委員の追加（3名）：玉木欽也先生，皆川健多郎先生，島田豊先生

【企画・行事委員会】委員長の変更：笥宗徳先生の人材育成委員会委員長就任により未定

#### 4. ホームページリニューアルについて

庶務（広報）担当理事より，（資料:1-4）に基づき，ホームページのリニューアルについて，秋大会にあわせてリニューアルをしていく旨の説明がなされた。予算額に対する費用増加が懸念されることから，まずは①TOP ページ②産学連携研究交流会③大会、の各 3 ページの充実を優先させることとし，その他のページについては，費用対効果を見極めながら段階的にリニューアルしていくことが全会一致で承認された。

### 協議事項

#### 1. 論文誌編集委員会運営細則の変更について

論文誌編集担当理事より，（資料:1-5）に基づき，変更案の説明および提案がなされた。現状，学会内外に公開されている「論文投稿規程」と，「編集委員会運営細則」で規定されている内容の間には齟齬があり，運用上好ましくない状況であり是正が必要である。一方で，そのためには実務上の運用フローの修正が必要となるが，それについても多くの課題を抱えている。しかしながら，それはケース・バイ・ケース的などころが多分にあるため，であるならば基本スタンスに立ち返って，まず運営細則を改訂することで齟齬を解消し，その上で新しい運営細則に則る形で運用フローを新たに策定したいという提案がなされ，全会一致で承認された。

なお，運営細則第 6 条 7 項に関連して，担当理事がエリアエディタを兼任することに伴って問題が発生した場合の対応について，編集委員会で持ち帰り検討を行うこととした。

#### 2. 経営工学会への入退会届指定フォーマットの変更について

会員担当理事より，（資料:1-6）に基づき，入退会届指定フォーマットの変更案の提示及び提案があり，入会目的，学会への要望等の項目を追加することを全会一致で承認した。また，個人情報

の管理についての1文を追加することとし、事務局で修正したフォーマット（案）を後日、会員担当理事及び会員委員会委員長へ送付することとした。

### 3. 会員候補者名簿（仮称：プレ会員名簿）作成について

会員担当理事より、(資料:1-7)に基づき、今後会員になっていただける可能性のある方の名簿を作成し、学会ご案内メールを送信する旨の提案があり、秋季大会までに開始したいとの説明があった。名刺交換した相手にはその場で事務局から経営工学会の活動情報に関するメール（文案については学会で作成）を送る旨を伝えることとし、事務作業は事務局に委託することを全会一致で承認した。後日、プレ会員名簿作成・管理に関する費用、期間の見積もりを事務局より提示することとした。

### 4. 経理細則第10条の再改訂(案)について

財務担当理事より、(資料:1-8)に基づき、経理細則第10条の再改訂(案)の提案、説明があり、第10条の冒頭における旅費交通費の支給対象を、「理事会出席の役員」から「総会・理事会出席の役員」とすることが全会一致で承認された。なお、総会・理事会以外の学会活性化に繋がる会議等の旅費交通費の支給については、会長及び財務担当理事の承認があれば認めることをガイドラインとして運用していくこととした。

### 5. 「電子署名」の使用許可について

財務担当理事より、(資料:1-9)に基づき、提案、説明がなされ、従来の自署方式に加え、電子署名の使用も許可することを全会一致で承認した。

### 6. 産学連携研究交流会について

産学連携担当理事より、(当日資料)に基づき、産学連携研究交流会の企画、進捗状況について説明があり、参加者へのサービス付与等についての協議がなされた。協議の結果、選挙権等の権利の問題や付随する会員管理の観点から、正会員のサービスを付与することはせず、代わりに交流会参加費を会員4万5千円、非会員5万円とする優遇を行って入会を促進することを全会一致で承認した（IE協会会員や学生の参加費、講師謝金等の扱いについては今後検討）。また、申込受付及び入金確認等については、事務局委託を検討しているとの説明があり、後日、事務局より委託費の見積もりを提示することとした。さらに、今後こういった件に対応する上では、従来の会員種別に加えた新たな会員種別を創設する必要があるのではないかという意見が出された。

## 報告事項

### 1. 退会について

会員担当理事より、(資料:1-2)に基づき、退会について報告がなされた。

### 2. 会員分析（初回）について

会員担当理事より、(資料:1-10)に基づき、会員分析報告がなされた。会長より、現在、学生会員の母数が少ないため、大会発表者及び指導教員への働きかけを強化するなど、ターゲットを絞った対策を講じていくことが重要であるとの説明があった。また、今後、経営工学研究に近い分野（デザイン・アート系など）に携わっている教員の発掘にも力を入れていくことを視野に入れつつ、会員増を目指すことを今後の課題とした。

### 3. 「四半期毎・予実算管理マニュアル」（支部・研究部門用，委員会用）

財務担当理事より、(資料:1-11)に基づき、四半期毎・予実算管理マニュアルの説明、報告がなされた。

### 4. 学会予算を執行する際のガイドライン

財務担当理事より、(資料:1-12)に基づき、学会予算を執行する際のガイドラインの説明、報告がなされた。

### 5. 第一四半期の予実算報告

財務担当理事より、(当日資料)に基づき、第一四半期の予実算報告がなされた。予算と比べて支出がなされていないのは支出報告に関するタイムラグや、キャッシュカードの配布が7月である

ことも影響している可能性がある旨が報告された。一方で会長より、論文誌ならびにシステム誌の編集にかかる支出の割合が恒常的に大きいことについては、抜本的な対策を検討する時期に来ている旨が報告された。

#### 6. 今後の大会開催について

大会担当理事より、(資料:1-13)に基づき、今後の大会開催について説明、報告がなされた。今後の方向性を早い時期から決め、進めていくことが必要であるとの説明があり、地方開催については、支部の意見を吸い上げつつ、検討していくこととした。

#### 7. 第33期第2回「国際渉外委員会」理事会報告

国際渉外担当理事より、(資料:1-14)に基づき、第33期第2回「国際渉外委員会」理事会報告がなされた。

#### 8. 「J-STAGE 投稿審査システム」の新規利用誌募集について

論文誌編集担当理事より、「J-STAGE 投稿審査システム」の新規利用誌募集について、利用する学協会増加に伴い、負担するサポート料及び利用料等の支出が予算に対して大幅に超過する見込みとなることから、平成27年度の募集は見合わせる事となった旨の報告がなされた。

#### 9. 掲載料・別刷代請求一覧について

論文誌編集担当理事より、(資料:1-15)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧について報告がなされた。

#### 10. 教員公募情報の学会HPへの掲載漏れについて

庶務(広報)担当理事及び事務局より、教員公募情報の学会HPへの掲載漏れについて報告がなされ、今回の原因は担当者のヒューマンエラーであること、今後の対策としては、①メルマガ配信直前に内容の再確認を行う、②メルマガ専用アドレスを用意しフォーマットも統一する、③掲載依頼の方法等を周知徹底する、等を行うことが報告された。

#### 11. 業務執行状況報告

代表理事より業務執行状況について報告された。具体的に、まず河野会長からは、産学連携研究交流会の立ち上げを中心とした学会活性化全般に関する業務と、他の通常業務全般に関する確認と指示を行った旨が報告された。次に二ノ宮副会長からは、国際化タスクについて活動の方向性を固めたこと、四半期の予実算管理を遂行したことが報告された。最後に外館副会長からは、活性化タスクとして産学連携研究交流会の企画並びに立ち上げを推進し、また日本IE協会との連携に向けて同協会と打ち合わせを行ったことが報告された。

#### 12. その他

後藤監事より、名誉会員の俵信彦先生(東京都市大学(旧・武蔵工業大学)名誉教授)が9月11日にご逝去され、今後システム誌に開沼先生より追悼記事を掲載することが報告された。

※次回第33期第3回理事会は、平成27年11月14日(土)15:30~18:00、慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館5階大会議室にて開催する。

議 長 河野 宏和 印

議事録署名人 高橋 勝彦 印

議事録署名人 後藤 正幸 印